

緑の風

Midori no Kaze



岡山ろうさい病院
Okayama Rosai Hospital

第80号

秋



泌尿器科の紹介

前立腺がんの診断と治療 当科での取り組み

1. 診断

(1) PSA (ピー・エス・エー)

なんといっても前立腺がん早期発見の切り札です。日本では2000年ごろから人間ドックや住民健診として普及しました。数ccの採血で前立腺がんの可能性が分かります。正常は4未満です。

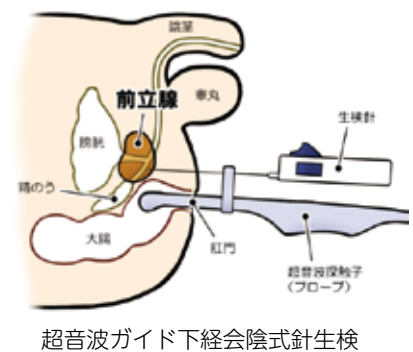
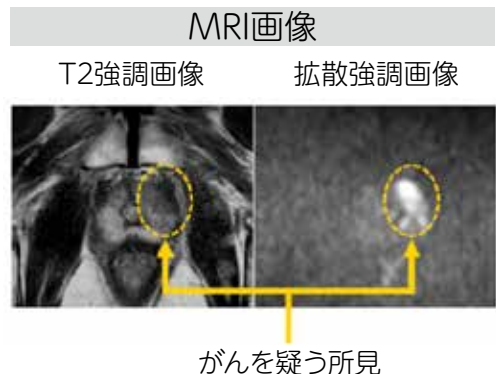
(2) MRI

一昨年当院に導入された3テスラのMRIで鮮明な高解像画像が得られるようになりました。PSAが4を超えた場合、MRI検査をお勧めします。

(3) 前立腺生検

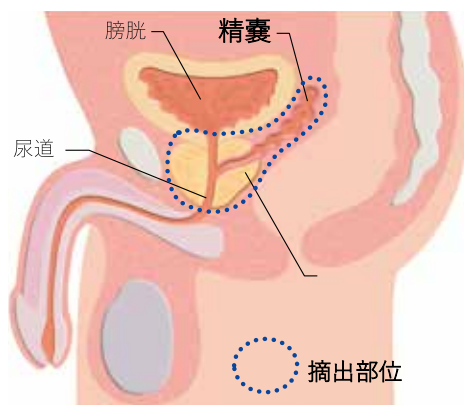
昨年からは合併症の少ない経会陰的生検を導入しました。1泊入院の上、麻酔科の先生の協力で痛くない生検を行っています。PSAが高い方、MRIで異常を指摘された方は生検をご検討ください。

生検材料の病理組織検査でsignificant cancer（治療が必要な臨床的に重要ながん）であれば治療について相談します。



2. 治療

(1) 手術



根治的前立腺全摘除術、がんの部分を含めて前立腺、精嚢を摘出します。

当科では腹腔鏡下小切開法による手術を行ってきましたが、本年5月からダビンチXiによるロボット支援手術を開始しました。手術用ロボットはアメリカ陸軍が遠隔操作で戦場の負傷者に対して必要な手術を行うことを目的に開発がはじまりました。1991年の湾岸戦争の時期に実用化が進み、2000年にアメリカで医療機器として承認されました。日本では2009年に承認され、2012年、前立腺がん手術が保険収載されました。

ロボット支援前立腺全摘除術のメリットとして、1. 傷が小さく痛みが軽い。2. 術後の回復が早い。3. 出血量が少ない。4. より繊細で、正確な手術を行うことができる。などが挙げられます。

当院では昨年10月から消化器外科で大腸がんに対してロボット支援手術をはじめました。外科医、泌尿器科医、麻酔科医、手術室専門看護師、臨床工学技士など多職種からなるロボット支援手術チームが安全で確実な手術を目標に活動中です。

(2) 放射線治療

手術と遜色ない成績です。当院では放射線科と協力してハイドロゲル直腸スペーサーを注入したうえで合併症の少ない放射線治療を行っています。



(3) 内分泌療法

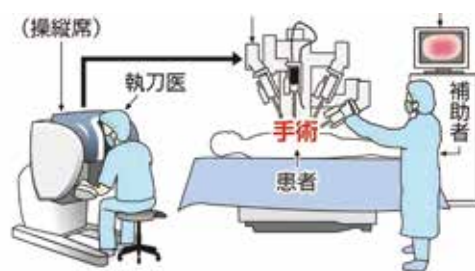
高齢者、合併症の多い方、転移のある前立腺がんでは内分泌療法（ホルモン療法）で病気の進行をおさえて前立腺がんとの共存を目指します。

(4) 新規ホルモン剤、抗癌剤などによる治療

最近、新規薬剤が次々に使用できるようになりました。

病状に応じて適切な薬剤を選択して治療を行います。

当科では、病状に応じてそれぞれの患者さんに一番適したの治療を提供いたします。



3. 「あなたのPSAはいくらですか？」前立腺がんの早期発見のために

前立腺がんは早期であれば完全に治る可能性の高いがんです。60歳になったら一度PSA検査をお勧めします。人間ドックや健診の時に『PSA』を追加してください。もちろん泌尿器科に受診していただいても構いません。

前立腺がんが非常に多いアメリカでは、1990年代に前立腺がんの治療を受けた有名俳優やゴルファーがテレビでPSA検診のコマーシャルに出演していました。その時の台詞が“What is your PSA level?”「あなたのPSAはいくらですか？」でした。



婦人科の紹介

婦人科 清水 恵子

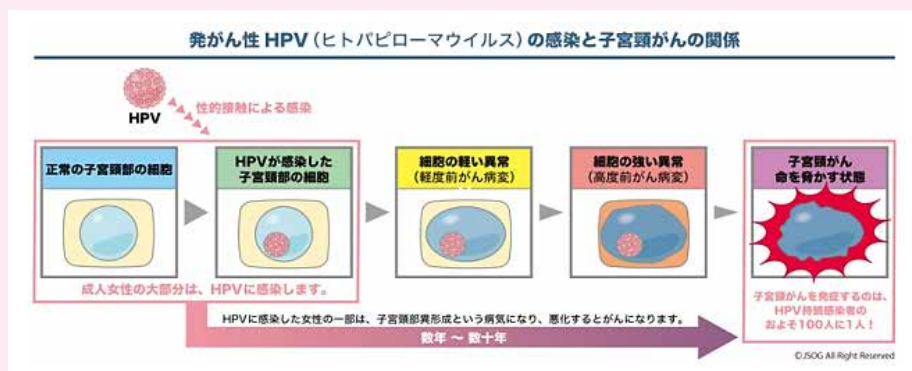
婦人科の診療について、子宮がんとその予防・検診の方法など、ご紹介させていただきます。

子宮は妊娠した時に胎児が発育していく子宮体部と、その下の細い部分で、出産の時に産道の一部になる子宮頸部に分けられます。子宮体部から発生するがんを子宮体がん、子宮頸部から発生するがんを子宮頸がんといいます。子宮がんの早期発見のため、婦人科では定期的な子宮がん検診をお勧めしています。

子宮頸がんとは

子宮頸がんは、日本では年間約1万人の女性が罹患し、約3,000人の方が亡くなっています。30～40代がピークで、若い世代での罹患が増えています。

子宮頸がんの95%以上は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因となっています。HPVはごくありふれたウイルスで、性的接触により感染し、性交渉の経験がある女性のほとんどが、一度は感染していると考えられています。そのうち一部の女性が、子宮頸部異形成という前がん病変を経て、数年から数十年後に子宮頸がんを発症します。HPVの中で特に子宮頸がんに関連しているものをハイリスクHPVと呼び、16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68型が含まれます。（一方、尖圭コンジローマなどの良性のイボから検出されるHPVをローリスクHPVと呼び、6, 11, 42, 43, 44型が含まれます。）日本では、子宮頸がんの60～70%（20代では約90%）はHPV16・18型が原因となっており、子宮頸がんになる危険度は、HPV16・18型感染のある女性は、感染のない女性の200～400倍高いと言われています。



日本産科婦人科学会

進行した子宮頸がんは不正性器出血（月経以外の出血）を認めることが多いですが、前がん病変や初期のがんではほとんど自覚症状がありません。子宮頸がんにおいては、原因となるHPVに感染しないためのワクチン（1次予防）と、がん検診による早期発見・早期治療（2次予防）がとても重要です。

※子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）については、小児科のページをご覧ください。

子宮頸がんの検診

子宮頸部細胞診と超音波検査を行います。細胞診は、子宮の入り口（腔部）をブラシで擦って細胞を採取します。必要に応じてHPVの検査を行うこともできます。また、経腔超音波検査で子宮や、併せて卵巣の状態なども観察します。細胞診で異常があった場合には、子宮腔部の病変が疑われる部位の組織片を採取して組織検査を行います。



日本産科婦人科学会

子宮体がんとは

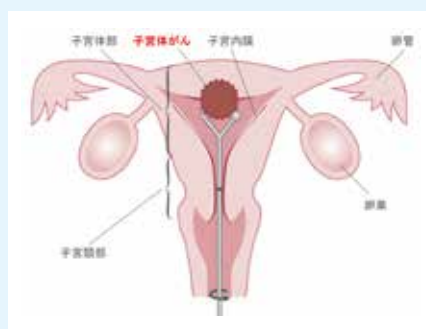
子宮体がんは子宮体部の子宮内膜から発生するがんで、子宮内膜がんとも呼ばれます。日本では年間約18,000人の女性が罹患し、約2,500人の方が亡くなっています。年々増加しており、主に女性ホルモン（エストロゲン）が関連し、子宮内膜増殖症という前がん病変を経て発生します。出産経験がない、肥満、月経不順や、長期間エストロゲン製剤単剤を投与している場合などで、リスクが高いと言われています。

一方で、エストロゲンと関係なく発生する子宮体がんもあり、このタイプは高齢の方に多く、がんに関連する遺伝子の異常が原因と言われています。高血圧や糖尿病を患っていたり、近親者に乳がんや大腸がん患者さんがいたりする場合、リスクが高いとされています。

子宮体がんで最も多い症状は不正性器出血です。子宮頸がんと比べて年齢が高いことが多いため、更年期や閉経後に不正な出血を認める場合には注意が必要です。

子宮体がんの検診

経膣超音波検査で子宮内膜の部分に異常な所見がないか調べ、次に子宮内膜細胞診を行います。子宮口から子宮の内部に細い検査器具を挿入し、子宮内膜の細胞を採取します。検査器具の挿入に伴い、痛みや出血を認めることがあります。また子宮頸部が細く、検査器具の挿入が難しいこともあります。細胞診で異常があった場合には、同じような方法で子宮の内部にさじ状の細い器具を挿入し、組織検査を行います。



日本産科婦人科学会

※子宮がんは外来での検診で早期に発見することができます。定期的な検診に加え、不正性器出血などの症状がある場合には、積極的に婦人科の受診をお勧めします。ご不明な点があれば、お気軽に窓口でご相談ください。



小児科の紹介

小児科 岡原 千嘉

小児科では、日ごろからお子さんの診療を中心に、ご家族全体（保護者やご兄弟）に寄り添うことを大切にしています。保護者やご家族には、病気のことだけでなく、成長や発達、生活習慣などについても医師に相談したいことがたくさんあると感じています。そのため、私たちは予防接種や健診にも力を入れて取り組んでいます。

今回は、婦人科と協力し、「HPV感染症をどのように予防し、発がんのリスクを減らしていくか」というテーマで、HPVワクチンについてご紹介いたします。

① HPVワクチンについて

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、子宮頸がんをはじめ、肛門がん・膣がん・尖圭コンジローマなど、さまざまな病気の発症に関わるウイルスです。一生のうちに80%以上の人が感染するといわれるほど、ごくありふれたウイルスです。

HPVワクチンは、これらのウイルス感染を防ぐために重要なワクチンです。ウイルス表面のタンパク質から作られていて、ウイルス由来のDNAは含まれていないため、ワクチン自体に感染性や発がん性はありせん。

現在、国内では2価ワクチンのサーバリックス®、4価ワクチンのガーダシル®、そして9価ワクチンのシルガード9®が承認されています。

初めての性交渉を経験する前に接種することが最も効果的とされています。サーバリックス®とガーダシル®は、子宮頸がんの原因の約50～70%を予防できるとされていますが、シルガード9®は、特に子宮頸がんを起しやすいうHPV16型、18型を含む9種類のHPV型に対応しており、子宮頸がんの原因の約80～90%を予防できると報告されています。

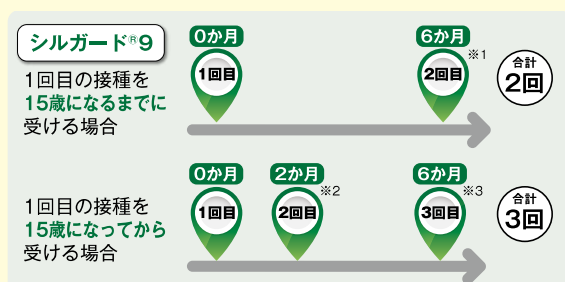
当院では、より広い型に対応できるシルガード9®を使用しています。

日本で承認されている HPVワクチンの種類	予防できるHPV型
2価（サーバリックス®）	16. 18
4価（ガーダシル®）	6. 11. 16. 18
9価（シルガード9®）	6. 11. 16. 18. 31. 33. 45. 52. 58

② 接種について

HPVワクチンは **小学校6年生から高校1年生相当の女子** が定期接種の対象です。接種スケジュールは厚生労働省の基準に沿って行います。

- 定期接種の対象年齢を過ぎた方も、任意接種として受けられます。
- 接種の間隔があいてしまった場合も、規定回数を完了することが大切です。どうぞご相談ください。
- サーバリックス®とガーダシル®は3回接種する必要がありますが、シルガード9®は2回接種でも効果が十分に得られるとの海外データから、2回接種も公費助成の対象になっています。



（参考：厚生労働省）

※1：1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。

※2・3：2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上（※2）、3回目は2回目から3か月以上（※3）あけます。

Q. 副反応はありますか？

- A. 接種部位の腫れや痛み、発熱、倦怠感などが一時的に出ることがあります。まれに強いアレルギー反応（アナフィラキシー）が起こることもあります。当院では安全に接種できるよう、接種後に一定時間観察を行っています。

Q. 男の子も打てるの？

- A. はい。男子の接種は、自身の肛門がん・咽頭がん・尖圭コンジローマの予防につながり、将来のパートナーを守ることもなると考えられ、重要な予防接種と考えられています。9価ワクチンのシルガード9®も厚労省が接種を了承し、2025年9月からは男子も接種可能となっています。これからはワクチンの呼称も子宮頸がんワクチンと言わず、HPVワクチンに統一されるものと思います。

耳鼻咽喉科の紹介

今回は耳鼻咽喉科の紹介をさせていただきます。

耳鼻咽喉科は今年4月から中希久子が赴任し、河合保典と常勤医2人体制で診療を行っています。

当科の特色として毎週水曜日午後に補聴器外来を行っています。補聴

器についての相談、耳の診察、聴力検査を行い、補聴器の貸出および購入から定期的な点検・調整まで行っております。河合、中ともに補聴器相談医の資格を有しており、適切な補聴器を装用できるようサポートしております。加齢性難聴による聞こえづらさに対しては早期の補聴器装用を検討します。近年、補聴器装用による認知症予防の効果やQOL改善の報告が多数されています。そして要介護になる原因の第1位は認知症です。難聴対策がその認知症を予防するために非常に重要です。聞こえでお困りの方がおられましたら是非当科に受診ください。一般外来に受診頂き、診察、検査後に補聴器装用の必要および希望がある方に補聴器外来の予約をお取りする流れです。

また外来では中耳炎・外耳炎、突発性難聴、耳性めまい、顔面神経麻痺、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻出血、扁桃炎、咽頭炎などの疾患を診察、治療しており、入院が必要な際には迅速に対応しております。

可能な限り地域医療に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



岡山ろうさい病院 オープンホスピタル

開催
しました!

～来て!見て!ふれて!岡ろう祭～

調剤体験★



放射線万博を開催!



心肺蘇生・AEDを体験!



9月27日(土)に開催いたしましたオープンホスピタルには、たくさん子どもたちが参加してくださいました。医療の現場を身近に感じていただくことで、将来この分野に携わりたいという思いを育むきっかけとなれば、職員一同これほど嬉しいことはありません。

こうした取り組みが、地域の未来を担う人材の育成につながることを願い、来年度も引き続きオープンホスピタルを開催してまいります。

今後とも、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



腹腔鏡シュミレータ等を使った手術体験★



手術ロボット「ダヴィンチ」を見学!



浦安小学校金管バンドの皆さんによる演奏♪



キッチンカーや屋台も多数出店!



備蓄食料配給訓練も実施しました。
協力：岡山市南区役所



緊急車両、地震体験車、交通安全体験車等が来場!
協力：岡山南警察署・岡山市南消防署



病院からのお知らせ

○ボランティア募集

始めてみませんか？病院ボランティア

『患者さんのために』とお考えの方なら誰でも参加できます。
特別な資格などは必要ありませんので、興味のある方や活動ご希望の方はお気軽にご連絡ください。

参加条件

- ・病院ボランティアの趣旨に賛同し、協力的に活動してくださる人
- ・活動の時間等約束が守れる人

募集期間 通年

活動日時

月曜日から金曜日の9:00～11:45（祝祭日を除く）のうちご自身の都合のいい日時に別途相談

活動場所 岡山ろうさい病院

主な活動内容

- ・外来での患者さんへの援助活動（院内への案内・受付援助・車椅子の介護ほか）
- ・院内での環境整備活動 ほか

申込方法

電話またはメール
連絡先 shomu2@okayamah.johas.go.jp
086-262-0131（総務課）



ボランティア研修あり
交通費支給あり
健康診断や予防接種を
当院で受ける
ことができます



○看護師（正規）募集

詳しくは病院ホームページをご確認ください。



病院の理念

地域の人々に最適の医療を提供し、
働く人の健康を守ります。

病院の基本方針

1. 患者の権利を尊重し、尊厳を守ります。
2. 地域の中核病院として、安心・安全に最適な医療を提供します。
3. 治療と就労の両立支援を推進します。

患者の権利について

- 1 良質な医療を平等に受ける権利
- 2 十分に理解できるまで説明を受ける権利
- 3 医療行為を選択あるいは拒否する権利
- 4 診療に関する自己の記録などの情報を得る権利
- 5 個人情報保護される権利
- 6 セカンドオピニオンを求める権利
- 7 小児患者が幸せに生き、守られ、育つ権利

患者の責務について

- 1 自分の症状について、必要なことを正確に伝えてください。
- 2 診療上の必要な指示は守ってください。
- 3 医師・看護師をはじめ職員の指示に従ってください。
- 4 病院の快適な医療環境の維持にご協力ください。
- 5 病院敷地内での飲酒、喫煙は禁止します。
- 6 職員に暴力・暴言など行った場合は院外に退去していただくことがあります。
- 7 新興感染症の流行を踏まえ、マスク着用・手洗いなどの標準感染症予防対策にご協力ください。